

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

3. 研究開発課題名

都市浸水リスクのリアルタイム予測・管理制御

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

古米 弘明(東京大学 大学院工学系研究科 教授)

5. 評価結果

都市浸水から安全・安心な災害レジリエンスの高い社会を目指す本研究開発は、地球温暖化を背景に多発する水害に対する効果がある魅力的な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、河川・下水道シームレスモデルに管路水位センシング技術とデータ同化技術とを組み込んで浸水予測の高速化・高精度化を図るなど顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、社会実装に向けて品質の異なる異種データの統合で起きる問題の検討や情報提供手段など「対応」に関する研究課題の検討が不十分であることから、探索研究で終了という評価となった。

以上